

H25.11.30

激増する前立腺がん



長尾和宏 (ながお・かずひろ)
 東京医大卒業後、大阪大第二内
 科入局。平成7年、尼崎市で「長
 尾クリニック」を開業。外来診療
 から在宅医療まで「人を診る。総
 合診療を目指す。医学博士。近著
 「平穏死・10の条件」「胃ろうと
 いう選択、しない選択」はいずれ
 もベストセラー。関西国際大学客
 員教授。55歳。

男性だけにある前立腺とい
 う臓器について、その位置や
 働きをきちんと知っている人
 は少ないでしょう。前立腺は
 大きさも形もクルミによく似
 ています。精子をつくる精巣
 (睾丸)の手前に位置し、門
 番のような役割をしていま
 す。射精の時に前立腺から分
 泌される液が精子に混じるこ
 とで、大切な精子を保護しま
 す。まさに、精子の守り神。
 精巣の前に立つ腺なので「前

動物性脂肪の弊害

立腺」といいます。その前立腺にできるがんは、日本の男性で最も増加しているがんです。2020年には1995年に比べ約6倍に増加すると予想されていま



「男性医療」シリーズ⑦

が、最近では40〜50代の男性で増えています。米国では男性の6人に1人が前立腺がん。がんになる人の半数を占め、がんで亡くなる人の10人に1人が前立腺がんです。

日本でも前立腺がんが激増

しているのは、脂肪の摂取量と大いに関係があります。日本人は戦後、食生活の欧米化に伴い、動物性脂肪の摂取割合が3倍以上に増加しました。結果として増えたのが前立腺がん、乳がん、膵臓がんなどの生活習慣病系のがんや、糖尿病です。

PSA 日本語では「前立腺特異抗原」。前立腺でつくられるタンパク質で、1979年に米国のワシントンによって発見された。精液の産生に関係し、精子が受精しやすくする。現在では前立腺がんの腫瘍マーカーとして広く使われている。

ただ、いったん前立腺がんができてしまうと、がんにした。すなわち、男性ホルモンが低いと「悪いがん」になりやすいといえるのです。前立腺がんの腫瘍マーカーとして、血液中のPSAが有名です。前立腺がんの患者さんのPSA値は高く、治療に応じて低下します。がんの早期発見のみならず、治療効果の指標としても便利な検査です。

しかしPSA値が高いから、がんであるとは限りません。前立腺肥大症や前立腺炎、乗馬などで前立腺を圧迫しただけでもPSA値は上昇します。血液中のPSA値の基準値は年齢によって異なります。年を取るほど基準値が上がります。血圧と似ています。60歳未満なら2.5ng/ml以下、60〜64歳なら3ng/ml以下、65歳以上は4ng/ml以下が正常とされます。

先週まで男性ホルモン(テストステロン)の話をしてきましたが、読者の中には疑問があるでしょう。男性ホルモンが多い人は、前立腺がんになりやすいのか? 男性ホルモンが少ない人に男性ホルモンの補充療法を行うと前立腺がんにならないのか? 答えはいずれも「NO!」です。

最近の研究で、前立腺がんの発がんに男性ホルモンは関係ないことがはっきり分かった。「悪いがん」にならないように

ひよっぴ